

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 新しい偏極中性子散乱による次世代デバイスの微視的理解
2. 研究代表者： 南部 雄亮（東北大学 金属材料研究所 准教授、東北大学ディスティングイッシュトリサーチャー）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、研究者自らが新たに考案したさまざまな偏極中性子散乱手法により、次世代デバイスに資するスピントロニクスと超伝導を対象とした研究を展開する。フェーズ1では、偏極中性子散乱によってスピン流の伝搬機構やトポロジカル渦構造の計測に成功するなど、計画は順調に進行している。多数の論文が出版され、成果は期待以上のものがあったと判断できる。フェーズ2では、偏極中性子計測によって解明されるミクロな現象が、スピントロニクスとしてのマクロな効果にどのようなインパクトを与えるかに重点をおいて探求することを期待する。

以上